

1 学年

＜年間到達目標＞

- ・辞典を使ってわからない言葉について調べることができる。
- ・短い文章が相手に伝わるように書ける。

＜単元構成＞

	単元名	時数	学習目標	内容
1 学 期	かな	5	<ul style="list-style-type: none"> ・ひらがな・かたかなの読み方や書き方を知る ・かなづかいを理解する 	<ul style="list-style-type: none"> ・文字のなりたち ・ひらがな（かたかな）の書き方 ・かなづかい（長音、拗音、促音）の読み方と書き方
	国語辞典	3	<ul style="list-style-type: none"> ・国語辞典が引けるようになる 	<ul style="list-style-type: none"> ・国語辞典の引き方と練習 ・「言い切り」の形
2 学 期	漢字	4	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字のしくみについて理解する 	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字のなりたち （部首、音読み、訓読み、画数など）
	漢和辞典	2	<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活に必要な漢字の読み書きができる ・漢和辞典が引けるようになる 	<ul style="list-style-type: none"> ・生活基本漢字の練習 ・漢和辞典の引き方と練習
	文法の基本	3	<ul style="list-style-type: none"> ・文のしくみを理解する 	<ul style="list-style-type: none"> ・文のしくみ（主語、述語、修飾語、接続語など）
3 学 期		2	<ul style="list-style-type: none"> ・原稿用紙を使って書く（主語と述語のねじれに気をつけてわかりやすい文が書ける） 	<ul style="list-style-type: none"> ・原稿用紙の使い方（段落、句読点など）
	文章の基礎	3	<ul style="list-style-type: none"> ・短い文章がわかりやすく書ける 	<ul style="list-style-type: none"> ・短い文章を書く

*受講生の学習状況に応じ、文学作品の鑑賞や説明文の読解を取り入れることもある。

2 学年

<年間到達目標>

- ・ 作品を通してさまざまな表現を学び、使えるようになる。

<単元構成>

	単元名	時数	学習目標	内容
1 学 期	自由詩	1	・ 詩的表現を学ぶ	・ 擬人法、擬音語・擬声語、擬態語 など
	説明文	4	・ 文章を論理的に理解する	・ 接続語、指示語を手がかりに読む
	生活文 故事、慣用句、 ことわざ	3	・ 故事、慣用句、ことわざを理解する	・ 段落ごとの文意を理解する ・ 筆者の考え方を理解する ・ 意味を調べる 自分の言葉で表現する ・ 例文を通して理解する
2 学 期	短歌・俳句・川 柳	3	・ 俳句、短歌、川柳の特徴を理解する。作品を味 わう	・ 一行詩、折り句づくり
	短詩の作成 文学作品	6	・ 作品をつくる ・ 主人公の気持ちを手がかりに読む ・ 主人公への共感、疑問などを文章化し、作者の 意図を考える	・ 小説や随筆、コラムなどを読む ・ 作品を通して作者の意図をつかむ ・ 作品の感想を述べ合う ・ 感想文を書き、発表する
3 学 期	方言	1	・ 方言への理解	・ 主に北海道方言を学ぶ
	敬語	3	・ 敬語の基礎を学ぶ	・ 日常生活に必要な敬語を文章を通して学ぶ
	手紙	1	・ 気持ちを伝える文章を書く	・ お礼の手紙を書く

*授業時は国語辞典を常備する

3 学年

<年間到達目標>

- ・ 作品を通して言葉にしたり、書いたりすることで自分の気持ちを表すことができる。(卒業文集を書く)

<単元構成>

	単元名	時数	学習目標	内容
1 学 期	いろいろな 文章を読む	8	<ul style="list-style-type: none"> ・ 作品の内容を理解する ・ 感想を述べたり、書いたりすることで表現力をつける <ul style="list-style-type: none"> ・ 卒業文集を書く (予定) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 文学作品、古文、漢詩・漢文、随筆、紀行文、コラムなど 言葉の意味調べ 段落について 作品の意図を読む 感想を書き、発表する
2 学 期	(続き)	3	・	
	日本語を 楽しむ	3	<ul style="list-style-type: none"> ・ 様々な文章を読み、書き、話す経験を通じて、日本語を楽しむ 	(方言、漢詩・漢文の鑑賞、敬語、スピーチ など)
3 学 期	(続き)	5		

じっくりクラス

○ 個別授業

- ・各受講生に対応した授業の取り組み

〈全学年共通事項〉

- ・授業の始めに音読（詩など）の機会を設ける。
- ・感想文など文章作成、発表の機会を充実させる。
- ・作文には原稿用紙を使用する。
- ・作文作成時のスタッフの関わり方として、「相手に伝わるかどうか」の観点（誤字・脱字、主語と述語のねじれ など）でみる。

〈漢詩、俳句等の学習〉

- ・漢詩「起承転結」、漢文の取り扱い：3年1学期から3年2学期にかけてやさしい漢詩や漢文を味わう。
- ・俳句・短歌などの取り扱い：2年2学期から「詩的表現」（詩、俳句、短歌、川柳、狂歌 などから選択）

〈漢字練習〉

- ・生活基本漢字（1年）→教育（学習）漢字、常用漢字（2、3年）という流れをとる。

げんざい^い 現在のコロナ禍^かにおいては、授業計画通り^{じゆぎょうけいかくどお}に進まない場^{すす}ば

あい^い 合があることをご承知^{しょうち}おきください。